

こだまでしょうか
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと、
「遊ぼう」っていう
「ばか」っていうと、
「ばか」っていう。
「もう遊ばない」っていうと、
「遊ばない」っていう
そうして、あとでさみしくなつて、
「ごめんね」っていうと、
「ごめんね」っていう
こだまでしょうか、
いいえ、だれでも。

「わたしと小鳥とすずと（金子み
すゞ童謡集）」 フレーベル館より

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

現行の学習指導要領の理念の一つに「社会に開かれた教育課程」という言葉があります。学校教育の中で子どもたちが社会とつながり、自身の目標達成のために積極的に行動する力を育むことが求められています。今年度、本校でもその理念の実現に力を注いでいます。

■ 「観音祭り」について調べた5年生

地域の方に来ていただいて、地域の祭りである「観音祭り」について調べたり、地域の方から観音祭り囃子を教えていただいたりした5年生が学年発表を行いました。観音祭り囃子を演奏しながら5年生が登場すると、体育館は一気にお祭りの雰囲気になりました。

今年度は観音祭り伝統の「造り物」に、広谷小学校児童から8作品を出品しています。「造り物」の復活に、子どもたちも一役担うことができるとすれば、子どもたちの“ふるさと意識”も一層強くなることと思います。



5年生の観音祭り囃子の演奏

■ 4年生による野菜の販売

4年生が、地域や保護者の皆さんに、野菜の販売を行いました。販売したのは、4年生が地域コーディネーターさんの協力により、総合的な学習の時間に育てたミニトマトと、2年生が生活科の時間に育てたキュウリです。販売しようと思えば、栽培だけでなく様々な活動が必要になります。広報、接客、お金の管理…。学校での学習が「世の中」とつながり、開かれた学びになっていることを実感しています。



お客様とのコミュニケーションはとても大切です



養父庁舎での訪問販売。市教委の皆様が協力してくださいました

次回の販売は7月15日（火）8：40～9：25 広谷小学校体育館前で行います。
4年生が育てたミニトマトを販売します。ぜひ、お立ち寄りください。

アゲハチョウの授業【3年生】

京都教育大学名誉教授の村上忠幸先生におこしいただき、アゲハチョウについての学習をしました。オスとメスの見分け方、エサの種類や与え方を教わり、最後にはアゲハの産卵の瞬間を見せてもらいました。子どもたちは興味津々にお話を聞き、アゲハにエサを与えるなど、これまでにしたことのない体験をしました。不思議なこと、美しいこと。子どもたちがこんな目を輝かせることが、この世界にはたくさんあるのだと気づかせていただきました。



子どもたちの目の輝き

校長室より「広谷っ子ブログ」を発信中です

【広谷っ子ブログ】<https://hirotanikocho.blog.fc2.com/>

